

## りんご、なしなどでツヤアオカメムシの飛来に注意

～園地への飛来が多い場合は直ちに薬剤散布をしましょう～

### 1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

令和6年9月下旬、県中央部のなし園地において、ツヤアオカメムシ（図－1、2）の多数の飛来と、本種により加害されたと推定される被害果（図－3）が確認された。さらに、園地周辺の杉の球果を吸汁する多数の成虫（図－4）が確認された。

県内に設置している予察灯では、8月上旬から誘殺が確認されており、潟上市予察ほ（なし）のチャバネアオカメムシのフェロモントラップでは、9月中旬から本種の誘殺が確認されている。

本種は本県の果樹類における主要な加害種ではないが、西日本では果樹類の主要害虫となっている。

9月26日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予報されている。

以上のことから、今後、りんごやなしなどの果樹類の園地で本種の飛来量が増加し、被害の発生が懸念されるため、以下の防除対策を行う。

### 2. 防除対策

園内の飛来状況をよく観察し、果実の被害が予想される場合は、直ちに薬剤散布を行う（表－1、2）。特に、山林に近接する園地では注意する。

### 3. 資料



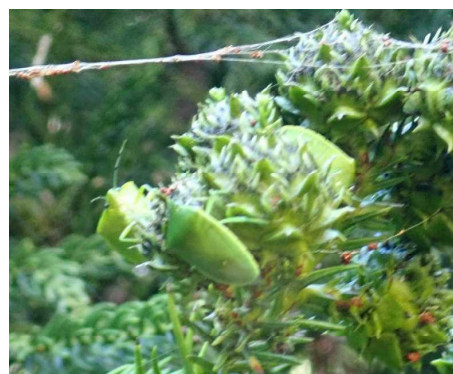
図－1 ツヤアオカメムシ成虫



図－2 ツヤアオカメムシ幼虫



図－3 なしの被害果



図－4 杉の球果を吸汁する成虫

表－１ りんごのカメムシ類の防除薬剤

| RAC<br>コード | 薬剤名        | 希釈倍数   | 使用時期 | 使用回数 | 各成分の総使用回数 |
|------------|------------|--------|------|------|-----------|
| 3A         | ロディー水和剤    | 1,000倍 | 収－前日 | 2回以内 | ア         |
| 4A         | アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | イ         |
| 4A         | スタークル顆粒水溶剤 | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | イ         |
| 4A         | ダントツ水溶剤    | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | 3回以内      |

RACコード 3A：ピレスロイド系剤 4A：ネオニコチノイド系剤

ア：フェンプロパトリン（7回以内（噴射は5回以内、散布は2回以内））

イ：ジノテフラン（3回以内）

表－２ なしのカメムシ類の防除薬剤

| RAC<br>コード | 薬剤名        | 希釈倍数   | 使用時期 | 使用回数 | 各成分の総使用回数 |
|------------|------------|--------|------|------|-----------|
| 4A         | アクタラ顆粒水溶剤  | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | 3回以内      |
| 4A         | アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | ア         |
| 4A         | スタークル顆粒水溶剤 | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | ア         |
| 4A         | ダントツ水溶剤    | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | 3回以内      |
| 4A         | バリアード顆粒水和剤 | 2,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | 3回以内      |
| 3A         | アグロスリン水和剤  | 1,000倍 | 収－前日 | 3回以内 | 3回以内      |
| 3A         | テルスター水和剤   | 1,000倍 | 収－前日 | 2回以内 | 2回以内      |

RACコード 3A：ピレスロイド系剤 4A：ネオニコチノイド系剤

ア：ジノテフラン（3回以内）

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県果樹試験場 TEL 0182-25-4224

かづの果樹センター TEL 0186-25-3231

天王分場チーム TEL 018-878-2251

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>